

これまでの人口の推移 (1980年～2015年)

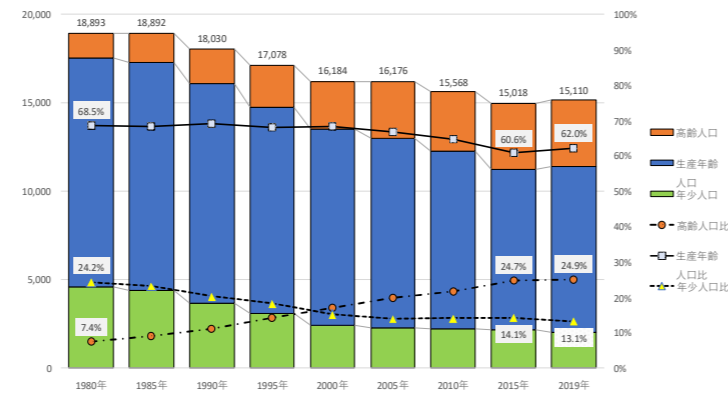
倶知安町の総人口は、1980年から2015年までの35年間で3,875人減少しました。5年ごとの減少率は平均▲3.2%、年率で▲0.6%でした。

1980年はいわゆる団塊の世代が30歳代で、その子世代(団塊ジュニア)も5～9歳を中心に多くなっていました。

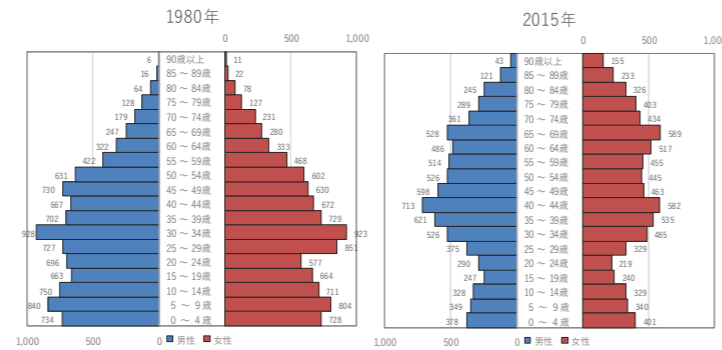
一方、2015年では、40歳から44歳が男女ともにすべての世代の中で最も多い年齢層となっているのに対し、24歳以下の世代が極端に少ない形になっています。

25年後の2040年、45年後の2060年に、どのように少子高齢化を乗り越え、バランスのとれた人口構成を目指すのかが問われています。

■3階層別人口の推移 (1980年～2019年) (人)



■性・年齢別人口構成の変遷 (1980年→2015年) (人)



人口の将来展望 (2015年～2060年)

[人口の将来展望]

倶知安町人口ビジョンは、人口減少の緩和を目指す取り組みや、今後想定される外部要因の変化等を考慮し、2040年時点で15,129人、2060年時点で13,792人となることを目標とします。

[自然増減について]

若い世代の転入者が多いため、倶知安町のさまざまな施策と人口対策の効果が十分実現すれば、若い世代が出産・子育てしやすい環境となり、出生率が2040年には人口置換水準である2.07へ上昇すると想定しています。

[社会増減について]

①外国籍住民の増加

「世界に誇る国際リゾート」を目指す本町において、季節により差はあるものの、通年で暮らす外国籍住民も増えており、今後も増加すると予想しています。

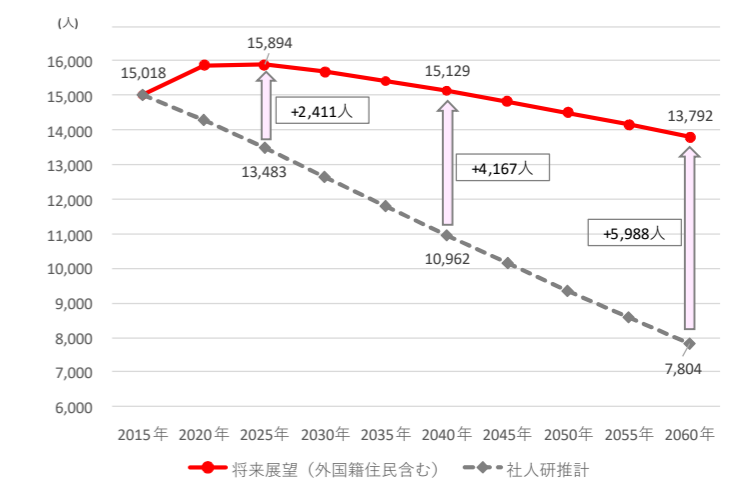
②高速交通ネットワークの整備

北海道新幹線倶知安駅の開業(2030年度予定)と高速道路「倶知安余市道路」及び倶知安インターチェンジ整備の実現により、後志周辺地域における交通と観光のハブ都市化が進むと予想しています。

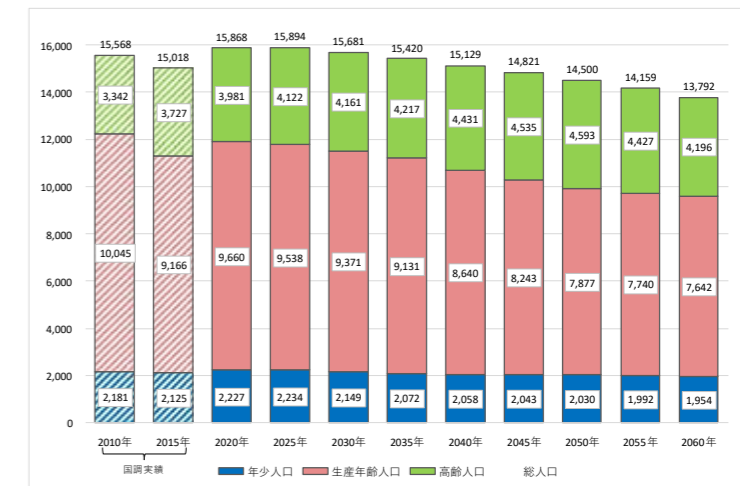
[外国籍住民の人口推移について]

日本人のみの人口に加え、外国籍住民数が1,000人程度になると想定し、倶知安町の総人口が、2040年時点で15,129人、2060年時点で13,792人となることを目標とします。

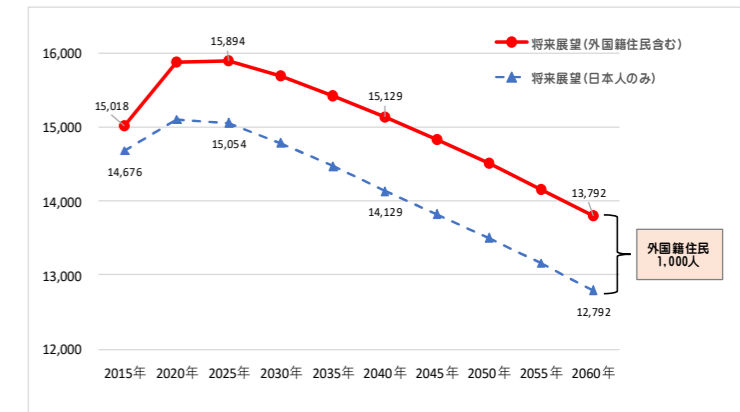
■人口の将来展望 (2015年～2060年) (人)



■年齢3区分別人口の推移 (2010年～2060年) (人)



■外国籍住民の人口推移 (目標) (人)



「倶知安町人口ビジョン」が示す取り組みの方向性

① 若い世代の仕事・雇用、子育て、教育を支援する社会環境の整備

- 「このまちに住み続けたい」と思えるまちづくり
切れ目のない支援により、住民が安心して働き、若い世代が希望通り結婚し、妊娠、出産、子育て、教育ができる社会環境の実現
経済構造の変化を踏まえた町内各産業の技術革新、生産性向上、高収益化

② 豊富な地域資源を活用した、多様な地域社会の形成

- 住民が将来にわたって安全・安心で暮らしやすいまちの実現
住民全てが互いの文化や習慣を理解し、認め合う多文化共生のまちの実現
地域の玄関口となる北海道新幹線の開通など直面する課題への真正面からの取組
恵まれた自然環境を活用した「世界に誇れる国際リゾート」への発展